

授 業 科 目	義肢学実習 I		
教 育 内 容	専門分野	義肢学	
担 当 教 員	丸山貴之、吉岡久恵、那須祐介		
学 年	2	単 位 数	3
開 講 時 期	通年（水曜日 1-4 限） （前期 55 回、後期 56 回）	時 間 数	実習（180 時間）

■ 授 業 概 要

本科目では、モデル被験者を対象に下腿義足の採型、修正、製作、適合の実習を行う。よって、製作・適合技術は当然として、モデル被験者と円滑なコミュニケーションをとることも本科目の課題となっている。

製作する下腿義足の種類として、PTB、PTS、KBM、TSB の 4 種類のソケットタイプのプロジェクトを行い、各プロジェクトごとに採型から仮合わせまでの一連の作業を行い義足の製作・適合技術を習得する。また、各プロジェクトでの仮合わせにおける作業内容を適合レポートにまとめ、プレゼンテーションおよびディスカッションを行い、各学生の経験を共有し、適合についての理解を深める。

本科目と同時に進行する義肢学 I での講義内容を理解していることが前提となるため留意すること。

なお、採型および仮合わせの作業内容は義肢学 I 課題として適合レポートにまとめる。

小テストは適宜実施する。

■ キーワード

下腿義足の種類と機能、義足の体重支持と懸垂、下腿義足の適合とアライメント、サイム義足・足部義足

■ 到 達 目 標

- 1) 下腿義足の製作・適合技術について理解し実践できる。不適合の原因を理解し、対処できる。
- 2) 義足歩行と義足アライメントについて理解し、調整を実践し不適合に対処できる
- 3) ソケットタイプごとのソケット適合の特徴を理解し適合調整を実践できる
- 4) 下腿切断の原因疾患と、それに適した義足（ソケットタイプやパーツ選択等）の考え方を理解する
- 5) モデル被験者に対し、作業に必要な的確な指示と、円滑なコミュニケーションを行うことができる

■ 授 業 内 容

第 1-2 回	P T B	オリエンテーション PTB ソケットの採型練習	
第 3-6 回		採型	(小テスト) モデル 7 名
第 7-10 回		修正 (→乾燥)、ソケット埋め込みブロック切り出し	
第 11-14 回		ソケット製作	(小テスト)
第 15-18 回		ソケット埋め込み、義足組立	
第 19-21 回		義足組立	(小テスト)
第 22-25 回		仮合わせ	(小テスト) モデル 7 名
第 26-29 回		PTB 式下腿義足の適合レポート発表	
第 30 回	P T S	PTS ソケットの採型練習	
第 31-31 回		PTS ソケットの採型	(小テスト) モデル 7 名
第 32-35 回		修正	
第 36-39 回		ソケット製作、義足組立 (発泡樹脂)	(小テスト)
第 40-43 回		義足組立	(小テスト)
第 44-51 回		仮合わせ	モデル 7 名
第 52-55 回		PTS 式下腿義足の適合レポート発表	

第 56-57 回		KBM ソケットの採型練習	
第 58-61 回		KBM ソケットの採型 (小テスト)	モデル 7 名
第 62-65 回		修正 (→乾燥)、ソケット埋め込みブロック切り出し	
第 66-69 回	K	ソケット製作 (小テスト)	
第 70-73 回	B	ソケット埋め込み、義足組立	
第 74-75 回	M	義足組立、	
第 76-78 回		義足組立 (小テスト)	
第 79-82 回		仮合わせ (小テスト)	モデル 7 名
第 83-86 回		KBM 式下腿義足の適合レポート発表	
第 87-88 回		TSB ソケット (ライナー式) の採型練習	
第 89-92 回	T	採型 (小テスト)	モデル 7 名
第 93-96 回	S	修正、ソケット成形 Demo	
第 97-100 回	B	ソケット成形、義足組立 (小テスト)	
第 101-103 回		義足組立	
第 104-107 回		仮合わせ (小テスト)	モデル 7 名
第 108-111 回		TSB 式 (ライナー式) 下腿義足の適合レポート発表	

■評価方法

本科目の評価は、「製作義足」、「適合レポート」、「小テスト」、「期末試験」の各項目での評価を総合して行う。
 (評価配分) 製作義足 35%、適合レポート 35%、小テスト 10%、期末試験 20%

■教科書

義肢学 第 3 版、義肢製作マニュアル 第 2 版、義肢装具のチェックポイント 第 9 版、
 切断と義肢 第 3 版

■留意事項

<実務経験のある教員>

丸山貴之：専任教員として 16 年間勤務の傍ら当センター病院リハビリテーション部併任にて下腿義足の採型、製作、適合業務に従事。

吉岡久恵：民間施設にて約 9 年従事。その後、教員（常勤・非常勤）として 19 年勤務。同時に東京都等の非常勤職員として義肢装具の更生相談に携わる。専任教員の傍ら当センター病院リハビリテーション部併任。

那須祐介：民間施設にて約 6 年従事し専任教員として 1 年間勤務（当センター病院リハビリテーション部併任）。